

夢きよく道はるか

平成28年6月15日
甲府市立東中学校
28年度第3号

6月の山、10月の壁

新学期スタートから2カ月が過ぎました。1年生は、「中学生としての基本を身につける」、2年生は、「中堅学年としての自覚をもつ」、3年生は、「最高学年としての責任をもつ」の目標を掲げ、慌ただしくも充実した2カ月を過ごしてきました。学年職員、生徒会組織を核とする生徒集団が、チームとして取り組んできています。3年生は修学旅行、2年生は球技会、1年生は林間学校とそれぞれ大きな行事を終えました。これらの行事への取組みや行事本番そのものを通じて得た経験や成果を今後に繋げていきたいと思えます。どの学年も活力が感じられる今学期前半でした。

梅雨に入り、少しうっとうしい季節を迎えました。新しい生活に慣れてきた今頃から生徒指導の問題が出てきます。それを乗り越えなければならないことから、「6月の山」という言葉が伝えられています。学園祭の終わった秋にも、燃え尽きて目標を失い、問題行動が多く発生したことから、「10月の壁」という言葉もあります。私たち教師や保護者の皆様のちょっとした指導の緩みや慢心が生徒の誤った気持ちの変化につながらないように、チームとして連携を密にしていきたいと考えますのでよろしくお願ひします。生徒達は、学校で確かな学力を身につけることと同様に、「みんなで何かを創る」、「みんなができるようになる」ためにチームワークやチームプレーの大切さを学んでいます。6月の山を乗り越え、生徒一人ひとりの豊かな成長の実現を図るために学校、家庭、生徒集団のみんなの力を結集していきたいと思えます。

17日から甲府市中学校総合体育大会

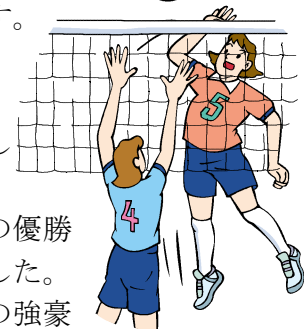
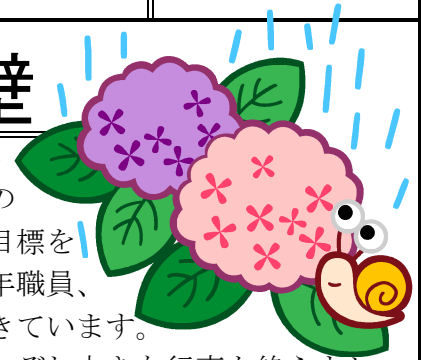
梅雨を迎え空模様が気になりますが、第65回甲府市中学校総合体育大会は、17～18日に開催されます。部活動の成果を試す大会はいくつかありますが、この総体は、甲府市の中学生の最も大きな大会であり、3年生の最後の大会でもあります。県総体の切符を賭けて今発揮できる力と技を出し切ってきてほしいと思えます。

6月に入り、部活動強化旬間により意識の向上が図られ、各部の生徒たちも決戦を待ち望んでいます。試合ですので、勝ち負けはつきませんが、まずは「ベストを尽くす」ことを考えて、戦ってきてほしいと思えます。

先月中旬から県の選手権大会が始まっていますが、男子テニス部の優勝をはじめ、女子バドミントン部では個人3位、ダブルス準優勝しました。さらに野球、サッカー、バレー、バスケット男女も入賞こそ逃したものの強豪校を相手に善戦しました。今後が楽しみです。



各部ともに、技能、体力、精神力を最高の状態を出し切り、さらに高いステージの県総体へ向け、ステップアップできる市総体になってほしいと思えます。感謝の気持ちを忘れず、観る人にも感動を与えられる試合をしてきてほしいと思えます。なお、各種目の組み合わせや試合開始時刻等は決まっていますので、都合のつく方は、子どもたちの頑張る姿に応援をお願いします。



3年生、古都の歴史や文化にふれる

今年の修学旅行は、5月23日から2泊3日で実施しました。昨年度から事前学習を進め、年度が変わった4月以降も、自主見学コースの設定やクラス見学地の選定、学年としての約束事を決めたりクラス単位でバスの中でのレクを話し合ったり、乗り物の乗車訓練など実行委員を中心に学級や学年で取り組んできました。

出発当日から好天に恵まれ、善光寺駐車場→静岡→京都→奈良という経路で初日の移動や見学が始まりました。見るもの全てが雄大で、歴史の重みがあり、心を引かれました。社会科の授業や事前学習で予備知識はあったものの、法隆寺の広さや東大寺の大仏の大きさ、興福寺国宝館の弥勒菩薩の輝きなど本物の凄さに圧倒されました。「百聞は一見にしかず」とは、まさにこのことであると思います。疲れましたが、心地よい一日でした。



2日目の京都市内自主見学は、奈良の旅館からタクシーでグループごとに計画を立てたコースを回りました。世界遺産や国宝に指定された建造物や仏像、庭園等我が国のすばらしい歴史や文化に直接ふれることができました。とても暑い一日でしたが、外国人の多さ、他県の修学旅行生の多さに驚くほどこの見学地も大変な人混みでした。私も何カ所かで生徒たちの様子を見ていましたが、集団での行動を乱すこともなく、協力しながら行動していました。夕方の座禅体験も心に残るものになりました。

3日目は、クラスごと別々に京都市内の文化財の見学や体験学習を実施しました。私は、1組の生徒と行動しましたが、生徒達は、清水焼の体験学習をした後、買い残したお土産をたくさん買い求めています。「家族のために」何をかうか、短い時間の中でしたが、最大限の思考力を発揮していました。楽しい嬉しい表情がとても印象に残りました。

3日間の旅行をとおして天気にも恵まれ、1300年の年月を超えて輝いている本物をしっかりと心に焼き付けてきたこと、最高学年として集団の団結力が向上し、時間励行、規範意識などもしっかり規律正しく行動できたことは、さすが、「東中の3年生」でありました。特に奈良及び京都両方の旅館の支配人の方から、「礼儀正しいしっかりした生徒さんですね」と彼らを褒めていただきました。とてもうれしい気持ちでした。この3日間の経験が今後に生きて働く力になるものと思います。これから、総体、東輝祭などリーダーシップを発揮してくれるものとさらに期待が膨らみました。

多くを学んだ林間学校

1年生は、今月1日～2日にかけて、御殿場市の「国立中央青少年交流の家」を拠点に林間学校を実施しました。トレッキングやオリエンテーリングを活動の柱に、自然の素晴らしさを感じたり、集団生活のあり方を学んだりすることをねらいに、責任感や思い遣りの心を実践的に学ぶ機会でありました。団長の新海教頭から「目的を達成し、団結力が向上した林間学校であった」と報告を受けました。一人ではできないこともみんなの力で克服できること、人を思いやる気持ちの大切さなどこれからは生かしていけるものだと思います。多くの成果があった2日間でした。



いくつかの小学校から入学して2カ月経過しました。○△小学校出身という意識から「同じ釜の飯を食った」211人の東中の1年生としての自覚や意識が高まったことだと思います。これからの学校生活を全員力を結集して、さらに上を目指してほしいと思います。

